

1. さんま棒受網漁業 ギョサイ・積立ぶらす 加入実績

(単位: 百万円)

地 区	令和5年度		令和4年度		増減 (R5-R4)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
室 蘭	214	3	238	3	△24	0
日 高	353	5	379	5	△26	0
釧 路	1,386	20	1,589	23	△203	△3
根 室	3,530	53	3,415	52	115	1
合 計	5,483	81	5,621	83	△138	△2

※積立金額には新型コロナウイルスの影響に伴う積立免除金額を含む。

2. 秋さけ定置漁業 ギョサイ・積立ぶらす 加入実績

(単位: 百万円)

地 区	令和5年度		令和4年度		増減 (R5-R4)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小 樽	1,450	113	1,074	82	376	31
桧 山	279	19	220	15	59	4
函 館	622	137	618	128	4	9
室 蘭	1,304	232	1,401	210	△97	22
日 高	2,523	511	2,751	452	△228	59
釧 路	1,989	500	2,083	494	△94	6
根 室	6,115	1,353	6,337	1,270	△222	83
北 見	12,381	2,002	11,631	2,057	750	△55
稚 内	3,629	364	3,304	367	325	△3
留 萌	447	56	374	52	73	4
合 計	30,739	5,287	29,793	5,127	946	160

※積立金額には新型コロナウイルスの影響に伴う積立免除金額を含む。



令和五年度上半期、大宗漁業・養殖業の加入（速報値）がまとまる 「秋さけ定置漁業」・「ほたて貝等養殖業」で加入実績増加

本年度は新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたものの、国際情勢の悪化とインフレによる燃油・資材価格の高騰等、極めて厳しい漁業環境下での推進となりましたが、上半期の大宗漁業である「さんま棒受網漁業」、「秋さけ定置漁業」、噴火湾地域等の「ほたて貝等養殖業」のギョサイ・積立ぶらす並びに「漁業施設（秋さけ定置漁具）」のギョサイ加入実績がまとまりました。

【さんま棒受網漁業】

根室地区で新規加入と復活による増加がありましたが、近年の不漁の影響による補償水準（共済限度額）の低下や休漁・廃業による減少もあり、全道集計ではギョサイ（共済金額・以下同じ）で前年度より一億三千八百万円減の五十四億八千三百万円、積立ぶらす（漁業者積立金額・以下同じ）で、二百万円減の八千二百万円の実績となりました。

【秋さけ定置漁業】

近年の来遊不振の影響による補償水準の低下や休漁等により減少となった地区もありましたが、オホーツク海・日本海側では補償水準が上昇し、函館地区で契約割合の引上げが図られたこと等により、全道集計ではギョサイで前年度より九億四千六百万円増加し、三百七億三千九百万円の実績となりました。また、積立ぶらすはクロマグロ強度資源管理による払戻判定額の引上げ等により、一億六千万円増加し、五十二億八千七百万円となりました。



3. ほたて貝等養殖業 ぎょさい・積立ぷらす 加入実績 (単位: 百万円)

地 区	令和5年度		令和4年度		増減 (R5-R4)	
	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額	共済金額	積立金額
小 樽	153	8	106	7	47	1
函 館	6,520	353	6,022	342	498	11
室 蘭	841	75	933	87	△92	△12
北 見	542	24	477	22	65	2
合 計	8,056	460	7,538	458	518	2

※積立金額には新型コロナウイルスの影響に伴う積立免除金額を含む。

4. 漁業施設（秋さけ定置漁具）ぎょさい加入実績 (単位: 百万円)

地 区	令和5年度		令和4年度		増減 (R5-R4)	
	件数	共済金額	件数	共済金額	件数	共済金額
小 樽	40	255	38	236	2	19
桧 山	2	18	2	20	0	△2
函 館	0	0	0	0	0	0
室 蘭	11	121	11	122	0	△1
日 高	20	329	18	267	2	62
釧 路	54	929	60	996	△6	△67
根 室	42	562	46	663	△4	△101
北 見	133	2,450	133	2,453	0	△3
稚 内	2	13	2	12	0	1
留 萌	4	36	4	36	0	0
合 計	308	4,713	314	4,805	△6	△92

【ほたて貝等養殖業】

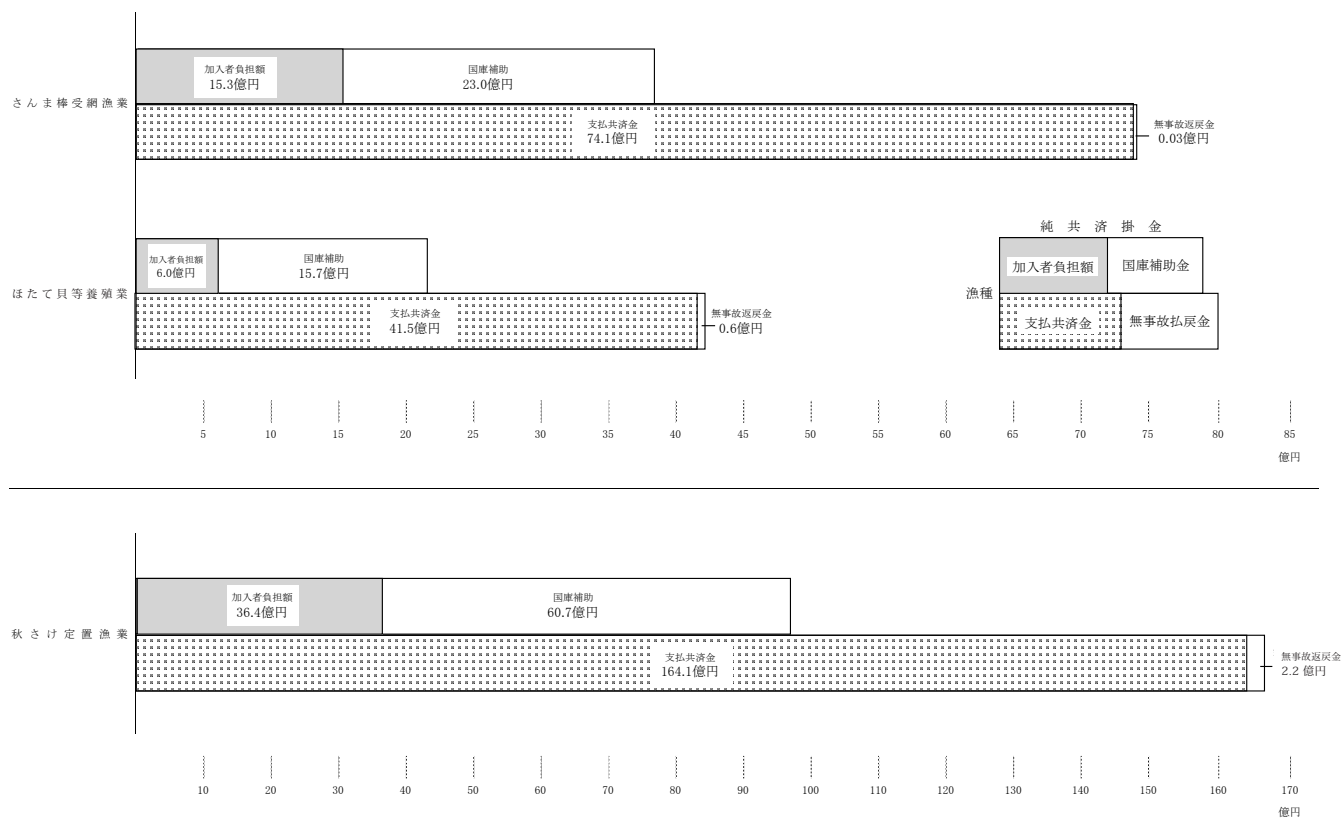
室蘭地区では、休漁・廃業等による減少があったものの、補償水準が上昇し、函館地区を中心に各地区で契約割合の引上げが図られたことにより、全道集計ではぎょさいで前年度より五億一千八百万円増加し、八十億五千六百万円、積立ぷらすは、四億六千万円の実績となりました。

【漁業施設（秋さけ定置漁具）】

小樽地区の東しやこたん漁協、日高地区の日高中央漁協で新規加入が実現しましたが、釧路・根室地区で休漁や契約の脱落等により、全道集計では前年度より件数で六件、共済金額で九千二百万円減少し、三百八件、四十七億一千三百万円の実績となりました。



5. 上半期引受 大宗漁業・養殖業の共済収支(平成30年度から令和4年度までの直近5か年累計)



【上半期新規加入速報】

四月の責任開始で鹿部漁協の秋さけ定置及び小型定置漁業、えりも漁協の小型合併漁業、八月の責任開始で東しやこたん漁協の漁業施設(秋さけ定置漁具)、九月の責任開始で森漁協のほや養殖業、日高中央漁協の漁業施設(秋さけ定置漁具)が新規加入となりました。

また、各種漁業・養殖業で契約割合の引上げ、てん補方式の拡充が図られております。

関係各位のご理解・ご協力に感謝を申し上げます。

下半期には、すけとうだら刺し網漁業、こんぶ養殖業、ほたて貝桁網漁業、こんぶをとる漁業、各種漁船漁業が加入時期を迎えますが、漁業経営の後ろ盾として、ぎょさいと積立ぶらすとのセット加入を引き続き推進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。



ぎょさい
積立ぶらす

安心

経営

